

## 事後評価結果（平成30年度）

担 当 課：三重県 県土整備部 道路建設課

担当課長名：真伏 宗樹

<b>事業名</b>	地域高規格道路 <small>いせしま</small> 伊勢志摩連絡道路 一般国道 167号 <small>だいにいせどうろ</small> 第二伊勢道路	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	三重県
<b>起終点</b>	自： <small>とば しらき</small> 三重県鳥羽市白木町 至： <small>いせ ふたみ まつした</small> 三重県伊勢市二見町松下			<b>延長</b>	7.6 km

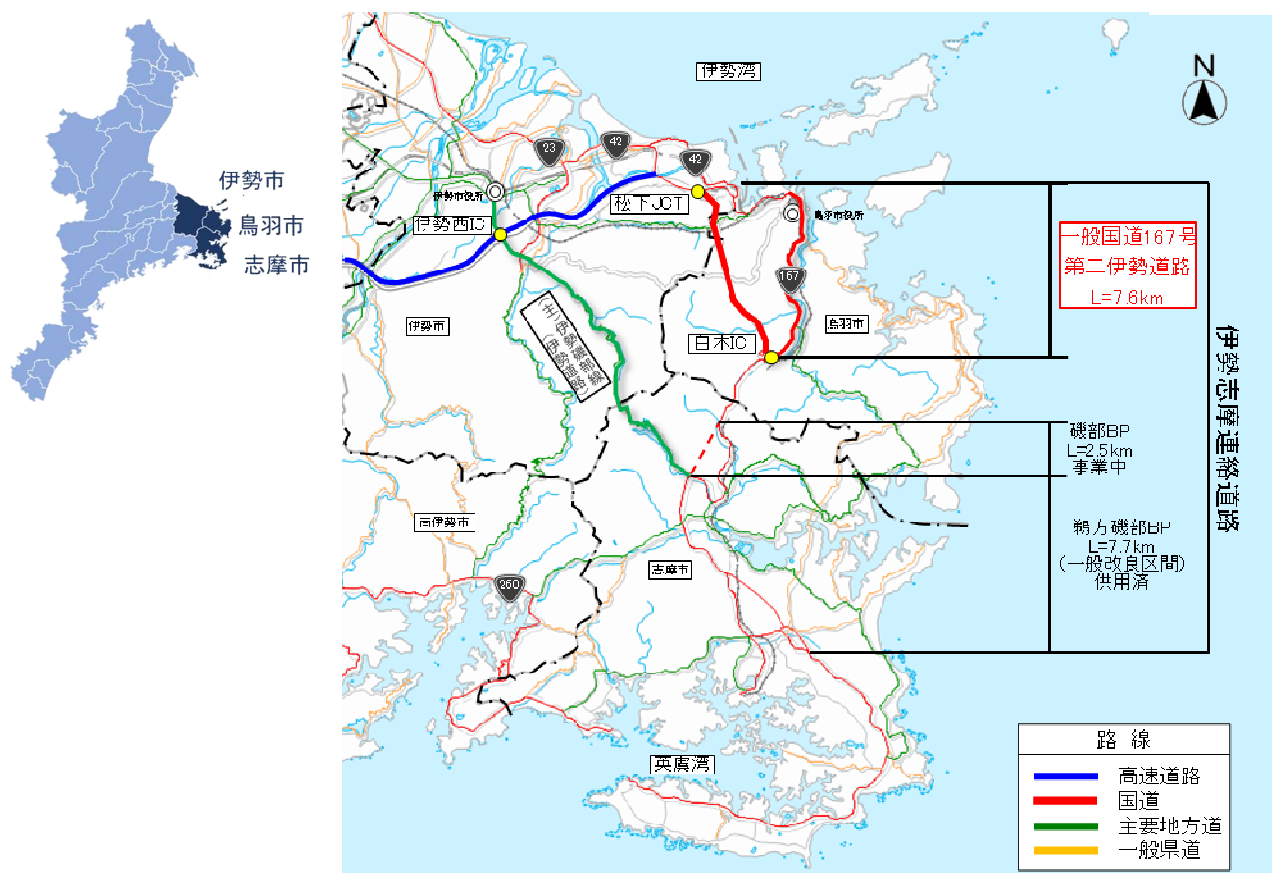
### 事業概要

一般国道 167号は、志摩市から伊勢市に至る延長約 49 kmの主要な幹線道路で、伊勢志摩地域の生活・産業・観光を支援する重要な路線である。第二伊勢道路は、鳥羽市白木町から伊勢市二見町松下までの 7.6 kmの 2車線道路（完成 4車線道路）である。

### 事業の目的・必要性

第二伊勢道路は、現道の国道 167号の市街地における交通混雑の緩和を図るとともに、社会生活圏の拡大、利便性の向上などによる産業経済の発展支援、観光地としての発展支援、災害時の緊急輸送道路機能の確保に大きく寄与するものである。

### 事業概要図



事業の 効果等	事業期間	事業化年度	H8年度	用地着手	H11年度	供用年	(当初) H24/— (実績) H25/—	変動	1.1倍	
		都市計画決定	—	工事着手	H11年度	(暫定/完成)				
	事業費	計画時 (暫定/完成)	(名目値) 297/—億円 (実質値) 341/—億円	実績 (暫定/完成)	(名目値) 309/—億円 (実質値) 354/—億円			変動	1.0倍	
	交通量 (当該路線)	計画時 (暫定/完成)	7,900/—台/日	実績 (暫定/完成)	6,200/—台/日			変動	22%	
	旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)	45 → 60 km/h (供用直前年次) H22年度 (供用後年次) H27年度		交通事故減少 (供用前現道→供用後現道)	57.9 → 36.3 件/億台キロ (供用直前年次) H24年度 (供用後年次) H29年度					
	費用対効果 分析結果 (再評価)	B/C 2.2	総費用 371 億円 事業費: 368 億円 維持管理費: 3.0 億円	総便益 811 億円 走行時間短縮便益: 640 億円 走行経費減少便益: 130 億円 交通事故減少便益: 41 億円	基準年 平成 24 年					
	費用対効果 分析結果 (事後)	B/C 2.2	総費用 466 億円 事業費: 462 億円 維持管理費: 3.7 億円	総便益 1,020 億円 走行時間短縮便益: 936 億円 走行経費減少便益: 79 億円 交通事故減少便益: 5.0 億円	基準年 平成 30 年					
	事業遅延によるコスト増		費用増加額	—	便益減少額	—				
	事業遅延の理由 特になし									
	客観的評価指標に対応する事後評価項目									
<ul style="list-style-type: none"> <li>●道路機能の改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>・並行路線の交通が、第二伊勢道路に転換し、並行路線の交通の負担を軽減するとともに拠点間の所要時間が短縮した。 (伊勢西 IC～白木 IC 間の所要時間が供用前の 28 分から 12 分に短縮される。)</li> </ul> </li> <li>●社会生活圏の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車専用道路ネットワークの拡がりにより、志摩地域へのアクセス性が向上した。</li> </ul> </li> <li>●産業経済の発展を支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二伊勢道路の開通で商業施設の進出や、周辺市の住宅着工数が回復するなど地域経済の発展に貢献している。</li> </ul> </li> <li>●観光地としての発展を支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該地域は県内において観光地として人気が高く、第二伊勢道路の供用により周遊性が向上し、入込客数の増加に貢献している。</li> </ul> </li> <li>●災害時の利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 2 次緊急輸送道路に指定され、雨量規制を抱える県道伊勢磯部線や津波被災の恐れがある現道の一般国道 167 号を代替することが可能となり、災害時の緊急輸送における確実性が向上した。</li> </ul> </li> </ul>										
その他評価すべきと判断した項目										
特になし										

事業による環境変化	環境影響評価に対応する項目
	比較的多く人家が存在する白木IC周辺では、騒音対策として防音壁を設置し、周辺環境へ配慮している。
	その他評価すべきと判断した項目
	特になし
事業を巡る社会経済情勢等の変化	
伊勢志摩地域は伊勢神宮や英虞湾などを有する国際観光都市である。第二伊勢道路は混雑する鳥羽市内、伊勢神宮周辺を bypass せずに伊勢二見鳥羽ラインから志摩地域へアクセス出来るルートを形成し、観光産業の発展が期待される。	
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性	
アンケート調査より、『夜間照明を充実してほしい』『入口が分かりにくい』という意見があったが、夜間照明や標識は各種基準に基づき設置しており、さらなる充実については交通事故の状況等を踏まえ、今後検討していく。	
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	
特になし	
特記事項	
特になし	

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。